

## アカアシクワガタ

菊水幼稚園ご一行が澄川森林に来林されての昼下がり、左の牙が欠けているクワガタムシを児童の誰かが、見つけて持ってきたと思うのですが、そいつを左手で脚を掴んで、右手だけでポケットのデジカメを取り出して撮影したのが右の写真です。撮影日時は2015年8月19日12時11分でした。傷物だし、馴染みのコクワガタとばかり思って、忘れていました。

コクワガタの一文を書くについて、クワガタのいろいろを確認して、この傷物クワガタの写真を拡大してみたら、脚の付け根にかけて赤味があること

に気づきまして、牙の形もよくよく見ますと顎牙の先端近くの内トゲがアカアシクワガタの形なのでした。いやいやおみそれしまして御免なさいでありました。アカアシクワガタと断定いたします。これを見つけたのが誰であったかも、今となっては記憶にありません。

ネットの画像検索でアカアシぶりがはっきりわかる画像を拝借しまして左に示します。牙の形ともども間違いないことをご確認ください。大きさは♂25~40ミリ、♀20~30ミリ、出現は7~9月。幼虫は澄川ではミズナラの枯れ材のようです。成虫はヤナギ、ミズナラ、イタヤカエデ、ハルニレの樹液にあつまるとのこと。特に晩夏にはヤナギを好むようです。澄川基地周りはヤナギだらけなので、児童らに見つかることになったのでありました。



親子森林教室のカリキュラムは森林の構成が漢字表記からして樹木偏重になってしまいます。虫オタクの爺には虫たちだって森林の構成員であるぞと認識しておりますれば、動物関係の記録を意識して残しております。子供たちの入林機会が増えてきておりますので、虫好きがいましたら、一緒に虫捕り網をふりふり、チョウチョやトンボや目にとまる虫たちを捕まえて、観察したいと念じるしだいでありました。傘寿をすぎました爺であります。昆虫少年に先祖返りをしたいと念じるこの頃でありました。

